

新春特集 2025年「挑 狭山で輝くチャレンジャー」

あけましておめでとうございます。昨年、狭山市は市制施行70周年の節目の年でした。次の10年に向かって気持ちを新たに進んでいくに当たり、さまざまな舞台で活躍する狭山ゆかりの人たちが今年「挑戦」したいと思っていることを伺いました。

問合せ 広報課へ ☎2935-3965



秋草学園高等学校 書道部

「毎日筆を持つ」をスローガンに、現在24名で活動中。パソコンとは違う手書きならではの味わい深い、温かみのある文字を書くことを大切にしています。「書は心の鏡なり」の精神をいつも心に持ち、2025年は「私学文化祭埼玉県知事賞受賞」という目標に向かって、部員全員が気持ちを新たに挑戦を続けていきます。

あけましておめでとうございます。
昨年は市制施行70周年という節目の年を、市民の皆さまとともに祝いすることができ、記念式典をはじめ各種事業も、多くの皆さまのご協力により滞りなく進めることができました。心から感謝を申し上げます。

今年は「巳（へび）年」です。十二支の中で唯一脱皮をして成長する「へび」のイメージから、再生や物事が新しくなるという希望に満ちた一年になるものと思っています。その第一歩として、3月末には入曽駅周辺整備のまちびらきを行い、商業施設や橋上駅舎、東西自由通路、東西ロータリーなどが供用開始となります。まさに、入曽の再生と同時に新しい物語がスタートします。現在、本市の人口は、4年連続で大幅な社会増となり、市内では住宅やマンション、商業施設の建設が活発化しています。産業面でも市内の事業所の拡充が相次いでいます。こうした動きをより力強く、確かなものへとするために今年も全力で取り組み、狭山の元気を生み出してまいります。



市長新春メッセージ

ら、再生や物事が新しくなるという希望に満ちた一年になるものと思っています。その第一歩として、3月末には入曽駅周辺整備のまちびらきを行い、商業施設や橋上駅舎、東西自由通路、東西ロータリーなどが供用開始となります。まさに、入曽の再生と同時に新しい物語がスタートします。現在、本市の人口は、4年連続で大幅な社会増となり、市内では住宅やマンション、商業施設の建設が活発化しています。産業面でも市内の事業所の拡充が相次いでいます。こうした動きをより力強く、確かなものへとするために今年も全力で取り組み、狭山の元気を生み出してまいります。



熱い闘志でチームを鼓舞する小さな巨人



狭山セコムラグッツ提供

飯田 光紀さん

狭山セコムラグッツキャプテン

Profile

令和4年狭山セコムラグッツに加入し、翌年からキャプテンを務める。チームは昨年、社会人ラグビーの最高峰ジャパンラグビーリーグワンのDIVISION3に新規参入

観る人に注目してもらいたいポイントは

身長が171cmと、ラグビー選手の中では小柄な部類に入ります。体格の大きい外国人選手とのコンタクトなど大変な部分もありますが、相手の足元を狙ったタックルや、密集の中での素早い動きは低さを活かした武器にもなっているので注目してもらいたいです。

狭山市の好きなのは

定食屋さんや中華料理屋さんなど、好きなお店がたくさんあるところです。寮が新狭山にあるので、地元の新狭山北口商店街でやっているイベントにもよく行きます。今後はチームとして参加させてもらいたいとも思っています。

今年挑戦したいことは

チームとしては1年でDIVISION2へ昇格すること。個人としてはチームの勝利に貢献できるような活躍を積み重ねることです。ジャパンラグビーリーグワンに参入し、フィジカルもメンタルも求められるレベルがとて高くなりました。ライバルたちに負けずに日々のトレーニングをしっかりとやっていきたいです。



笑顔と優しさを地域に届ける奉仕団



黒瀬 節子さん

狭山市赤十字奉仕団委員長

Profile

平成19年から狭山市赤十字奉仕団として活動を始め、22年から委員長に就任。年間を通じて市内のさまざまな地区で福祉活動に従事

どのような活動を行っていますか

総合防災訓練での避難所生活に役立つ体験型ワークショップ、地震などの大規模災害があった際に義援金を募る街頭募金、売上金を寄付するためのリサイクルバザー、防災意識を啓発するセミナーなど、地域福祉に関する取り組みを多岐に渡り行っています。

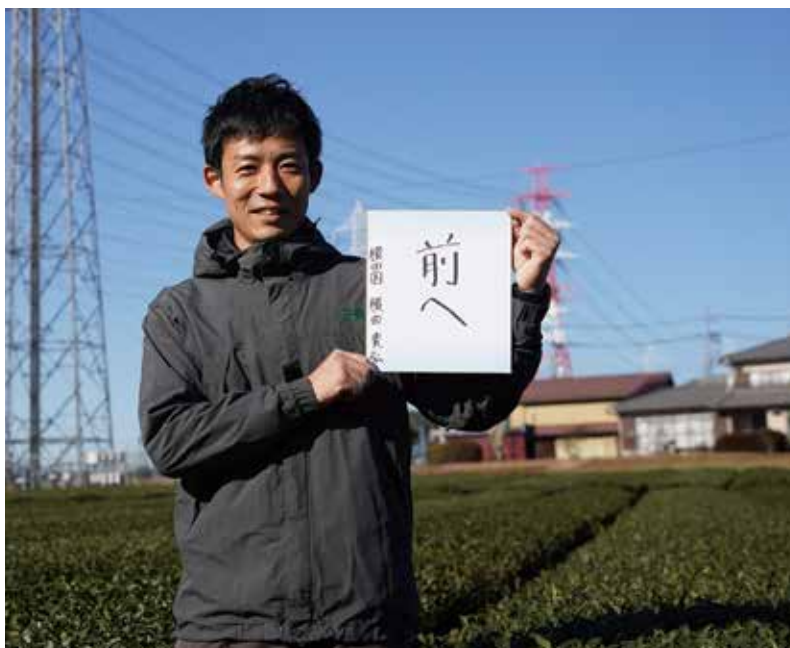
活動の中で心掛けていることは

狭山市赤十字奉仕団は「できる時に、できる事を♪」をモットーにしています。団員自身が楽しく和やかに活動することを大事にしつつ、イベントなどで一緒に参加して下さる方にも同じような気持ちで地域に関わってもらいたいと思っています。

今年挑戦したいことは

日頃から西武文理大学の学生さんや社会福祉協議会の皆さんと一緒に活動をしています。幅広い年代の多くの方たちと絆を結びながら、活動の幅を広げていきたいです。また、狭山市赤十字奉仕団のことを広く知っていただき、一人でも多く同じような志を持つ仲間が増えたらいいなと思っています。

大正時代から続く茶園を受け継ぐ若き茶師



横田 貴弘さん

狭山茶製造元
とうぶ
東阜横田園園主

• Profile •

東阜横田園6代目園主。自園製造のお茶以外にも狭山工業高校生と共同で紅茶作りを行うなど、地域活動にも積極的に取り組む

どのようなお茶作りに力を入れていますか

昔から茶摘み歌で「味は狭山でとどめさす」とうたわれているとおり、狭山茶は味の良さで注目されてきましたが、最近は香りの良さに注目してもらえようなお茶を作ることに力を入れています。ハーブや桜餅のような香りのするお茶もあり、そうした品種が若い世代にも興味を持ってもらうきっかけになればいいですね。

狭山はどのような場所ですか

優しくて温かい人が多い街です。祖父や父の代からお付き合いさせていただいている皆さんが今でも目を掛けてくださっていて、本当にありがたく思っています。家業を継ごうと思ったのも、こういった方々と一緒に頑張っていきたいと思ったからです。

今年挑戦したいことは

和紅茶の祭典である「全国地紅茶サミット」を狭山茶の産地に誘致することです。そのためには、地元の生産者がどれだけ真摯においしい和紅茶作りに取り組んでいるかをアピールすることが大事になってきます。土作りから仕上げに至るまでしっかりこだわってやっていきたいです。

入曽の街を明るくおしゃれにしていこう仕掛け人



宇都宮 瑞恵さん

nico+オーナー、
いりそらマルシェ主催者代表

• Profile •

平成30年、入曽地区のアパートの一室をリノベーションして菓子店[nico+]をオープン。「せれくとichi」や「いりそらマルシェ」などさまざまなマルシェを主催

活動を始めたきっかけは

お店を始めたのは「人脈やお金を持っていなくてもゼロからチャレンジできる」ということを自ら実践することで知ってもらいたかったからです。営業を続けるうちに、雑貨を作る作家の人たちと交流する機会が増えたので、その人たちが成長できる場を設けたいと思い、マルシェを企画しました。

企画・運営しているマルシェへの思いは

「せれくとichi」はおしゃれで居心地のいい、私の好きな世界観を共有できる出店者と来場者の方々が集まれる場を作りたいと思ってやっています。「いりそらマルシェ」は地元のお店の人たちと協力しながら、入曽駅前の商店街が元気で明るくなるためのきっかけにしていきたいですね。

今年挑戦したいことは

入曽の街並みが大きく変わるので、いりそらマルシェもレイアウトなどを見直ししながら、より地元のお店が関わりやすいような形にしていきたいです。また、入曽に外国人観光客を呼べるようにしたいという思いもあるので、内容についてもいろいろと仕掛けを考えたいです。



狭山の特産品サトイモ作りのベテラン農家



山下 真司さん
JAいるま野さといも部会長

Profile

サラリーマンを経験した後、25年前に家業である露地野菜の農家として就農。現在430人の会員が所属するJAいるま野さといも部会で部会長を務める

狭山のサトイモの魅力は

美しい白さとねっとりした粘り気のある食感。それと市場で最も評価される2Lサイズと呼ばれる100～160gのサイズで形が良いものがそろっていることです。煮物や汁物、衣かつぎなどで食べると、とってもおいしいですよ。

生産者として工夫していることは

近年、気候変動によって梅雨の降雨量の減少や夏場の大変な暑さ、害虫の増加などに見舞われています。それ以外にも資材や肥料の価格高騰など難しい部分もありますが、少しでも効率を上げるために最近ではドローンを使った農薬散布など新しい手法を取り入れています。

今年挑戦したいことは

狭山のサトイモは市町村別農業産出額で全国1位です。これは、優れた栽培方法や種芋を地元の農家同士で共有するなど、地域全体でサトイモを盛り上げていこうという文化が根付いていることが要因だと思っています。今年も生産者同士で力を合わせて全国1位を達成したいですね。

静寂の世界で戦うデフ卓球*プレイヤー



牧野 陽菜さん
デフ卓球プレイヤー

*聴覚に障害があるプレイヤーが補聴器などを付けずに行う卓球競技

Profile

國學院大學2年生。中学校から本格的に競技を始め、令和5年に「世界ろう者ユース卓球選手権大会」で銀メダルを獲得

デフ卓球ならではの難しさは

音が聞こえないことで、打ち込むためのリズムを掴むのが難しく、慣れるまでは空振りしてしまうこともありました。現在は、聞こえない環境でプレーする精度を上げるため、一般の大会に出場するときも補聴器を外しています。

プレーではどんなことを心掛けていますか

少し前までは、自分の得意な形で決めることにこだわっていました。しかし、さらにもう一段階高いレベルへ上がるために、それだけでは駄目だと気付きました。今はどんな形でもポイントが取れるよう、とにかく1本でも多く相手に返すことを心掛けています。

今年挑戦したいことは

一番大きな目標はやはりデフリンピックで優勝することです。今年開催される東京デフリンピックの代表に入るとは叶いませんでしたが、4年後の開催に向けて、今の自分に足りないことと向き合いながら少しでも実力を伸ばすためのトレーニングを重ねていきたいと思っています。